



郡山城（大和郡山市）

の西北の丘陵地に、祭神を藤原鎌足公とする大織冠鎌足神社が鎮座します。大織冠は鎌足公の冠位、尊称です。

談山神社文書（「大和志料」所収）などによると、1585（天正13）

年9月郡山の地に百万石の太守として入城した豊

大織冠鎌足神社（大和郡山市）



臣秀長は、豊臣政権の権威付けと郡山城の鎮守と

- （住所）大和郡山市南郡山町697
- （祭神）藤原鎌足公
- （例祭）10月16日
- （交通）近鉄郡山駅から奈良交通バ

ス・大和小泉駅東口行きなどで「大職冠」下車。西北へ徒歩約10分。駐車場なし
（拝観）境内自由

秀長、多武峰から遷座

多武峰の社殿を郡山城の

そこで秀長は1587（天正15）年11月郡山新

座はわずか3年足らずに

西方丘陵地に造営し、翌年4月に遷座させるとい

今も市内に「大職冠」

1789（寛政元）年、郡山城主柳澤保光により現在地に移されたのが今の大織冠鎌足神社で、霊験あらたかな神として崇拜されてきました。

「藤原町」と鎌足公由来の地名を留めています。（奈良まほろばソムリエの会員 森田康義）